

四、本誌巻末の「編誌總観」は、千葉委員の手記である。本會が連合軍總司令部の懇談によつて解散するに至つた経緯を細説し、併せて其の立場から回顧して本會の史策を總観したものである。

五、本誌の編集について、協調會元會長水野鍊太郎氏、元副會長松岡均平氏その他の縁故者、並びに中央労働學園理事長桂皋氏その他の當事者の援助を受けたりこそ少くない。こゝに厚く感謝の意を表しておく。

昭和二十三年三月十日

財團法人協調會清算事務所

協調會誌(稿本)編集會

目次

第一章 協調會創立の事情と設立の趣旨 一頁

第一節 協調會の創立事情 一

第一項 我國における労働問題の發生

とその解決機關設立論の擡頭 一

第二項 協調會設立の経緯とその中心

人物 一〇

第二節 協調會設立の趣旨 四

第一項 協調會設立の趣旨と労働界の

動向 四

第二項 「協調會宣言」と協調思想の

發展 六九